

『明日の福祉アイデアコンテスト』 3名が優秀賞を受賞！！

「明日の福祉アイデアコンテスト」（千葉商科大学、湖山医療福祉グループ共催）で、3名が優秀賞を受賞しました。このコンテストは、高校生を対象に、家族の絆、地域交流、健康づくりなどの面から、より良い福祉を実現するアイデアを募集したものです。

昨年12月8日(木)に、千葉商科大学人間社会学部の勅使河原 隆行准教授が来校され、校長室で表彰式が行われました。



受賞者 以下のとおりです。

- 3年 木村 沙也加さん 「円背の人でも腰パンにならずにはけるズボン」
円背の人や腰が曲がっている人に、腰パンにならずにズボンをはけるよう、裏に紐やベルトをつけて、手を紐に通して上にあげることで、腰パンを防ぐことができる。

審査講評

他の人から素敵に見えるようにしていきたいというのは、誰もが望むことである。障害によって受ける制約を少しでも少なくし、社会からの評価を高め、自信をもった生活を確保していくための良いアイデアである。

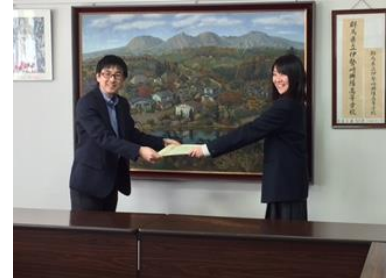


○ 3年 根岸 志帆さん 「とろみキャップ」

ペットボトルのキャップの裏にとろみ成分が入っていて、すぐにとろみをつけられるキャップ。

審査講評

心身機能の低下の中でも、嚥下障害は生命の危険を生ずる可能性がある問題である。年を取ると、置いた場所を忘れることは非常に多くなり、そうした問題を解決するための良いアイデアであると思われる。



○ 3年 中島 可南子さん 「ダンスレッスンの実施(その人にあったダンス)」

日頃あまり動かさない体を動かして健康になってもらう。

審査講評

ダンスを通して地域の高齢者、障害者との繋がりを深め、楽しみながら健康増進を図るというアイデアが素晴らしい。地域の子ども達にも参加してもらい、未来に繋がるイベントに進化してもらいたいと思う。

